

PRESS RELEASE

心臓の音を聞き、”生きている”を感じる時間

医師と看護師が小学生に伝える「いのちの授業」@半田市

10月29日(水) 9:45~10:30 @亀崎小学校

知多半島総合医療センターでは、地域の小学生を対象に、医師と看護師が命の大切さを伝える「いのちの授業」を開催します。命の誕生や心臓の音を聴く体験を通して、”生きている”という実感を児童たちに届けます。



本授業では、医師と看護師が講師となり、命のはじまりや心臓の動き、そして「自分も友達も生きている」ということの尊さを語ります。児童たちは聴診器を使って自分や友達の心臓の音を聞き、命の鼓動を体で感じ取ることができます。また事故や災害、病気など、命をおびやかす出来事についても学び、「いのちを大切にすることは何か」を考える時間とします。

現場で命と向き合う医療者だからこそ伝えられる”生きることのリアル”。医療の専門知識だけでなく、人としても思いやりや助け合いを育むきっかけとして、地域に根ざした取り組みを展開します。

【日 時】 2025年10月29日(水) 9:45~10:30

【場 所】 半田市立亀崎小学校 教室（半田市亀崎月見町3丁目10）

【参加者】 小学校5年生 26名

【講 師】 医師：勅使河原 圭（てしがわら けい）

看護師：新美 華絵（にいみ はなえ）、杉浦 綾（すぎうら あや）

【内 容】 病院の紹介・いのちの誕生について・聴診器で心臓の音を聞く体験

寿命とは・いのちの危険・まとめ

【注意事項】 取材に来られる際は、事前に下記までご連絡ください。

児童の顔の撮影は、学校側との相談になります。

事前連絡・お問い合わせ先

地方独立行政法人知多半島総合医療機構

経営企画課 企画・財政係 担当:福岡



0569-89-0515(内線2932)



kikaku.zaisei@chitahantogmo.or.jp